

大阪市立 矢田東小学校



所在地 〒546-0022 東住吉区住道矢田2-7-43

電話 06-6702-9877

URL <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e741700>

校長名 八木 宣行



標準服 無 集団登校 無



学校概要

①教育目標

豊かな心を持ち、主体的に生き抜く子どもを育てる。
めざす子ども像：なかよく助け合う子・すすんで取り組む子・つよい体にきたえる子

②校長先生のメッセージ

矢田東小学校は東住吉区の南に位置し、創立48年を迎えた歴史と伝統のある学校です。近くには大和川があり、田園風景の見える自然豊かな環境に恵まれた地域です。芝生が広がる校庭からは、いつも元気に遊ぶ子ども達の声が聞こえてきます。学校・家庭・地域がひとつになって、学校教育目標の実現に向け、全力で取り組んでいます。

● 運営に関する計画

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校・家庭・地域）の実現】

- いじめについて対応の充実を図る。
・全学級で、毎月末に、いじめの認知件数と解消した件数などをまとめ、校内で共通理解を図り、組織的な対応を行う。
- 児童朝会での講話や学級指導などを行い、学校安心ルールや、社会のルールを守ろうとする態度の育成を図る。
・経年調査や児童アンケートの「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を85%以上にする。
- 「特別の教科」道徳、道徳教育の充実を図る。
・全学年で1回は学習参観で道徳の授業を実施する。
- 基本的な生活習慣の確立を図る。
・「わくわくスケジュール」や「生活ふりかえりカード」を活用し、生活ふりかえり週間の取組みを年3回以上実施する。
- 子どもの自主的活動推進を図る。
・委員会活動や学級での係や当番活動、全校遠足・東小フェスティバルを年1回、児童集会・なかよし班遊びを毎月実施する。
- 体験活動の充実を図る。
・児童の実態に合った体験的な学習を計画し、全学年、年1回以上行う。また、年2回以上ゲストティーチャーによる授業を実施する。
- 健康安全活動の充実（体力づくり）を図る。
・全学年で毎学期に、2時間目の休み時間などを活用した業間体育を実施する。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 授業の改善を図る。
・全教員が年1回以上「伝え合う力」「学びあう力」の育成をテーマに国語の授業研究を行う。
- 児童が「めあて・ねらい」を意識し、学習内容を振り返れるような授業の工夫を行う。
・経年調査や児童アンケートにおいて、「授業のはじめに目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか」「授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか」という質問に対して、肯定的な回答をする児童を80%以上にする。
- 基礎学力の定着を図る。
・3～6年の算数において、学校全体で標準授業時数の40%以上の習熟度別少人数授業を実施する。全学年でT・Yや単純分割や課題別分割なども組み合わせた個に応じた指導を行う。
・毎学期末に、「矢田東漢字検定・計算検定」の取組みを実施する。
・学習教材データ配信を、昨年度以上に授業や家庭学習や自主学習で活用する。
- ICT機器の活用等による授業改善を図る。
・タブレットをすべての学級で月に1回以上使用する。
- 読書活動の推進を図る。
・ボランティアの募集や校内での人員活用を工夫し、昨年度より学校図書館の開館時間を増やす。
・学級文庫の整備などの環境整備を行い、経年調査や児童アンケートの「読書は好きですか」の項目に対して、肯定的な回答をする児童を70%以上にする。
- 英語教育の推進を図る。
・全学年で、年間を通じて週に2回以上、モジュールでの英語教育の取組みを行う。

● 体力・運動調査結果

種目別 平均値	種目	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
男子		18.74	21.95	33.79	43.47	51.68	9.14	175.16	24.37	58.89
女子		20.35	21.90	40.05	39.10	41.80	9.22	168.58	17.95	60.95

男子・女子ともすべての種目で大阪市平均を上回った。また、全国との比較でも、男子の20mシャトルランと女子の反復横とび以外はすべて全国平均を上回っている。特に、昨年度の課題であった上体起こし・長座体前屈については、男女とも大きな改善がみられた。

「なわとび週間」や「かけ足週間」などの業間体育の取組み、鉄棒補助員・なわとび台の設置、鉄棒・なわとびカードやかけ足カード作成など体力向上の意識を高める取組みを行ってきた。また、休み時間を活用した学級遊びを運動

● 児童数・学級数

平成30年5月1日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
児童数	50	38	48	45	44	38	263
学級数	2	2	2	2	2	1	11
特別支援学級							4

● 学力調査結果

	国語A	国語B	算数A	算数B
平均正答率 (%)	61	44	64	32

全教科において、全国および大阪市の平均正答率を下回る結果となった。特に国語A・Bの「話すこと・聞くこと」、算数A・Bの「量と測定」の領域で大きく平均を下回った。国語A・算数Bにおいては昨年度より差が開いた。しかし、無解答率においては、国語・算数とも全国および大阪市の平均を下回るなど、成果も見られた。児童質問紙調査では、「朝食を毎日食べている」児童の割合は、全国平均から5ポイント下回ったが、昨年度より10ポイント差が縮まった。しかし、「自分にはいいところがあると思いますか」「人が困っているとき進んで助けていますか」で肯定的に答える児童の割合が全国平均を下回った。

学力向上プロジェクトチームを中心に、児童の基礎学力向上に向けた様々な取組みを行ってきた。今後も引き続き、本校の学校教育の柱である基礎・基本の充実に向けた取組み（読書や漢字・計算等学習習慣を形成する朝の時間の活用、担任・担当による習熟度別少人数授業、放課後ステップアップ事業の取組みなど）を継続していく。また、「話すこと・聞くこと」に課題があり、児童の伝え合う力を育てる必要があるため、お互いの意見を交流し合っ、より考えを深めていく授業づくりに取り組んでいく。さらに、家庭訪問、懇談会、学校だより、学年だより、ホームページなどにより保護者への啓発を行い、学習環境と生活リズムの確立に向けた家庭との連携強化を図っていく。

※全国・大阪市の平均についてはP10参照

※全国・大阪市の平均についてはP10参照

①基礎学力の定着を図る

学習のきまりである「学びのきほん」や家庭学習の充実に向けた「家庭学習の手引き」を作成し、学校と家庭とが協力して学力の定着を図っています。その他にも、職員朝会を週1回にしてそれ以外の時間を朝学習や英語学習に充てたり、補充学習（放課後・夏季休業）の時間を設定したりして、子どもの学力向上に努めています。



③なかよく助け合う集団育成

年間を通して、異学年集団（1年生～6年生）による「なかよし班」を編成し、計画的に活動しています。活動内容は、集会活動・全校遠足・東小フェスティバル・運動会・なかよし班遊びなどです。これらの活動を通して、なかよく助け合う子どもを育成し、相手の気持ちを受け止め、すすんで友だちと関わるようにしています。



⑤家庭・地域との連携

- 「昔遊び体験」「商店街調べ」「農業体験」「校区めぐり」などの体験活動
- 「PTA子どもまつり」や「地域夏祭り」ではPTA・地域が協力し、出店
- 「矢田東子ども安全見守り隊」の方々やPTAによる毎日の登下校の見守り活動
- 近隣校区における幼保小連携・小小連携・小中連携・支援学校との連携
- 放課後や土日に行われるスポーツクラブとの連携

②読書活動の推進

朝の読書活動や図書委員会の児童による本の読み聞かせ、図書館開放などを行い、自然と本に親しむ環境を整えています。また、東住吉図書館の方による読み聞かせや本の紹介（年2回）を実施し、さらに図書委員会児童による週1回朝の読み聞かせを行い、読書の楽しさを伝えるようにしています。また、学校独自で作成した「読書ノート」を活用し、目標50冊・100冊を目指して意欲的に読書に取り組むようにしています。



④つよい体にきたえる

2時間目と3時間目の間の休憩時間や朝の時間を利用して、「業間体育」「かけ足週間」「なわとび週間」「体育朝会」を設定し、年間を通して体力の向上に努めています。夏季休業中の「水泳指導」にも力を入れ、泳力を伸ばすように取り組んでいます。また、大阪市の陸上大会に参加し、自分の記録を確かめる場も設定しています。

